

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	47	学 校 名	静岡県立藤枝西高等学校	校 長 名	原田 直樹
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

校訓「自律 敬愛」のもと、生徒一人一人の多様な進路希望を実現できる学校として、主体性・協働性を育む多様な学び、豊かな感性と異文化理解の精神を育むグローバルプログラム、コミュニティ・スクール事業などの教育活動を通して、国際的視野を備え、社会に貢献することができる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～ ・何事にも積極的に挑戦する気概を持ち、未来を切り拓く力 ・他者との協働を通して国際的視野を備え、社会に貢献する力	～本校ではこのような学びを行います～ ・教科の学習を通して「知識や技能」の習得、「思考力、判断力、表現力」及び「学びに向かう自主的な態度」の育成を図る ・総合的な探究の時間やキャリア教育、グローバルプログラム等を通して総合的な学力の向上を図る ・学校行事、生徒会活動、部活動等を通して自律的な態度と自己肯定感の育成を図る	～本校ではこのような生徒を求めています～ ・校訓（自律・敬愛）に込められた理念への理解ある生徒 ・自らの心身を鍛え、学業や部活動、学校行事に加え、グローバルプログラムやコミュニティ・スクール事業、探究活動等の各種活動に対して主体的、協働的に学ぶ意欲のある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア（人間性の育成）

行事、生徒会活動、部活動等を通して、自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を実現する。

イ（学力の定着）

教師による「授業改善」及び生徒による「学習改善」の充実を図り、確かな学力を育成する。

ウ（進路目標の実現）

キャリア教育の実践等を通して自己理解を深め、生徒一人一人の進路実現を図る。

エ（信頼される学校づくり）

<職員>

教職員の資質向上や危機管理の意識啓発及び働き方改革の推進を図る。

<安全>

学校安全3領域（生活・交通・災害）の意識を高め、生徒の心身の健康や安全に留意した学習環境の充実を図る。

<広報>

学校の理解促進に向け、効果的な情報発信を図る。

オ（地域との連携）

コミュニティ・スクール事業等を通して地域資源を活用し生徒の学びの機会を増やし、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	（人間性の育成） 行事、生徒会活動、部活動等を通して、自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を実現する。	・生徒の挑戦する姿勢を励まし、支援することで自主性、主体性を育てる。 ・人権尊重の精神を育成し、敬愛の気持ちを育む。 ・品位ある生徒の育成を図る。 ・豊かな感性、異文化理解の精神を育む取組を充実させる。 ・生徒主体の朝読書を通して主体性を育み、生活リズムの定着を図る。	・学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組む生徒 80%以上 ・生徒を承認し、励ます声掛け（ボイスシャワー）を実践する教員 90%以上 ・生徒に対する言葉遣いや授業のユニバーサルデザイン化に配慮する教員 90%以上 ・学校生活で自分に自信を持てたことがあったと感じる生徒 80%以上 ・グローバルプログラム（GP）に主体的に参加し「国際的視野に立ち、物事を考えられるようになった」と感じる生徒 70%以上 ・読書活動が有意義であると感じる生徒 70%以上	全職員 生徒・保健 GP委 総務・図書
イ	（学力の定着） 教師による授業改善及び生徒による学習改善の充実を図り、確かな学力を育成する。	・教員相互による授業参観等を通して授業の質の向上につなげる。 ・アンケートを通して現状を把握し、授業改善を図る。 ・ICT機器の活用、教材の工夫により、主体的な取組を促す。 ・生徒による学習改善により、授業を大切にする姿勢を高める。	・相互授業参観に積極的に取り組んだ教員 80%以上 ・他教科等の授業参観を通して授業改善に努めた教員 80%以上 ・主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80%以上 ・「授業の内容がよくわかる」と評価する生徒 80%以上 ・授業を通して教科の興味、関心が高まったと評価する生徒 80%以上 ・授業においてICT機器を効果的に活用している教員 80%以上 ・ICT機器を効果的に活用して学習をする生徒 80%以上	教務・情報 各教科
ウ	（進路目標の実現） キャリア教育の実践等を通して自己理解を深め、生徒一人一人の進路実現を図る。	・自己理解を深め、進路実現につながる指導を実践する。 ・進路情報を収集し、全職員で共有するとともに、生徒・保護者へ積極的な情報提供を実践する。 ・一人一人の進路希望を大切にし、究タイム等を活用したきめ細やかな進路支援を実施する。 ・高大連携授業等、オープンキャンパスへの参加を促す。 ・国公立大学も含め、年度内入試を有効活用して生徒の進路実現に向けた総合的な支援をする。	・「進路情報の提供が適切」と答える生徒 80%以上、保護者の割合 70%以上 ・進路指導に関して家庭と連携できていると答える生徒 80%以上、保護者 70%以上 ・自らの進路実現に向かってチャレンジできていると答える生徒 80%以上	進路・探究

様式第 1 号

エ	(信頼される学校) <職員> 教職員の資質向上や危機管理の意識啓発及び働き方改革の推進を図る。 <安全> 学校安全 3 領域(生活・交通・災害)の意識を高め、心身の健康や安全に留意した学習環境の充実を図る。 <広報> 学校の理解促進に向け、効果的な情報発信を図る。	・ 職員の時間外勤務を把握し、業務改善と定時退勤日を推奨する。 ・ 校内研修(コンプライアンス研修含む)を通して職員の資質向上を図る。 ・ 校内外の連携を密にした取組により、安全・安心な学習環境を整える。 ・ 交通安全指導の充実により交通ルールとマナー遵守の態度を育成する。 ・ 校内や地域での防災訓練を通して、危機管理意識の向上を図る。 ・ 施設の安全点検を定期的に行い、学校施設の安全性を確保する。 ・ 清掃活動を充実し、校内美化を推進する。 ・ C-Learning 等の情報機器を活用して効率的な運営を推進する。 ・ 学校HPやSNS、西高通信の発行などを通して、効果的に必要な情報を発信する。	・ 定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員 80%以上 ・ 働き方の改善を意識し「生徒と関わる時間を大切にできた」と実感する教員 70%以上 ・ 定時退勤日の設定 100%、実践 8 割以上 ・ 体罰、セクハラ等の不祥事件数 0 件 ・ 悩みや不安を話す人や機会があると答える生徒 80%以上 ・ いじめの予防、早期対応に努めた教職員の割合 100% ・ 重大な交通事故件数 0 件 ・ 生徒による交通安全の呼びかけを学期に 1 回以上はおこなう ・ 地震や暴風警報発令時等の登校基準を把握していると答える生徒・保護者 80%以上 ・ 施設、設備不具合に起因の事故、けが 0 件 ・ 「校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる」と答える生徒 80%以上 ・ 学校の情報配信が適切であるとする保護者 80%以上	全職員 生徒・保健 総務・図書 事務室 管理職
オ	(地域との連携) コミュニティ・スクール事業など、地域資源を活用した生徒の成長の機会の充実により、地域に信頼される学校づくりを推進する。	・ コミュニティ・スクール事業を通して生徒の学びの機会を確保する。 ・ 学校運営協議会を開催し、効果的な協議の場とする。 ・ 地域資源を活用して本校生徒の成長に寄与する活動を行う。 ・ 地域や保護者との協働、連携により、生徒の教育活動の充実を図る。	・ コミュニティ・スクール事業が自分のためになった、と感じる生徒の割合 70%以上 ・ 学校運営協議会の協議内容を学校運営に生かす。 ・ 地域と連携した教育活動をしていると感じられる保護者の割合 70%以上	全職員 管理職 生徒・保健 総務・図書